

函 農 水

令和 7 年(2025 年)10 月 17 日

経済建設常任委員会 委員各位

農 林 水 産 部 長

参考資料の配付について

このことについて、下記のとおり資料を配付しますのでよろしくお願い
します。

記

天然キングサーモンに由来する人工種苗からの採卵および稚魚の生産に
ついて

(農林水産部漁業活性化対策担当 21-3339)

天然キングサーモンに由来する人工種苗からの採卵および稚魚の生産について

1 経緯・経過

国の地方大学・地域産業創生交付金を活用した「函館マリカルチャープロジェクト（キングサーモン完全養殖技術研究事業）」では、令和4年度に天然キングサーモンの卵と精子による人工授精に成功し、得られた人工種苗を中間育成施設にて飼育してきました。

このたび、飼育してきたキングサーモンが成熟したため、本年7月から8月にかけて人工授精を行い、その後、9月に稚魚のふ化を確認しました。

このことにより、国内で初めて、日本沿岸で天然採捕されたキングサーモンに由来する人工種苗を用いた完全養殖による稚魚の生産に成功したこととなります。今後、この稚魚の一部を再び次世代の親魚の候補として育成する予定となっております。

2 産卵およびふ化の概要

- (1) 産卵成熟個体数：16尾（令和4年度作出魚）
 - (2) 採 卵 卵 数：26,000粒（R7年7月から8月に人工授精）
 - (3) 発 眼 卵 数：11,000粒（R7年8月から9月にかけて確認）
 - (4) ふ 化 尾 数：9,000尾（R7年9月から10月にかけてふ化）
- ※発眼卵：受精後、細胞分裂が正常に進み、稚魚の眼が形成されると卵の外から目が確認できるようになる。この状態を発眼卵といい、正常発生の目安とされている。

3 その他

- (1) 得られた種苗は完全養殖第2世代の親魚候補として飼育されます。また、一部の幼魚や成魚はキングサーモン用の飼料開発や給餌法開発、並びに同飼料等を用いて育成した生産物の品質分析の研究に用いられます。
- (2) 生まれた稚魚の様子については、随時「函館マリカルチャープロジェクト」のホームページにて公開する予定です。

函館マリカルチャープロジェクト

URL <https://mariculture.marine-hakodate.jp/>